

日高の記憶

vol. 5

問い合わせ 生涯学習課文化財担当
☎985-0290

令和6年度に発行される新一万円札の肖像となる渋沢栄一。今年のNHK大河ドラマの主人公であり、今注目の埼玉県の大偉人です。

渋沢栄一は、叔父に連れられて江戸へ向かう道中と、一橋家に召し抱えられた幕末期に日高を訪れています。日高にも残る渋沢家や栄一の史料からは、日高も幕末の動乱へ向かう世の中と無関係ではなかった事が伺えます。

渋沢栄一と日高



◀ 「南遊季候」

安政5年(1858年)栄一19歳の時に、叔父と深谷から2泊して江戸へ向かう間の紀行文。毛呂山から飯能への途中、景色の美しさから清流峠で漢詩2編を詠んでいます。文中に清流峠、平沢村の文字が見えます。

「三月十七日(中略)毛呂を過ぎて一里半、嶺があり清流峠という。嶺の下方の谷間に平沢村がある。この村を過ぎて三、四回嶺を登り降りすると最も高い嶺を飯能峠といい、眼下に飯能が見える。(中略)越生から飯能まで三里強というが、山路がけわしいので四里ほどあるよう思えた」と記されています。

※三月十七日は新暦の4月30日

出典：デジタル版「渋沢栄一伝記資料」 渋沢栄一記念財団



◀ 「桜陰筆記」 高麗神社刊

高麗家56代当主、高麗大記の幕末から明治初頭にかけての日記です。

栄一と義兄成一郎が元治元年(1864年)6月と8月に梅原を訪れた記述があります。一橋家に仕官した栄一は鳥羽伏見の戦いに備え、一橋家領内から農兵の人選を行っています。当時高麗地域も一橋領でした。8月には、一橋家に召し抱えられていた甲源一刀流比留間家の国造、高麗大記が栄一と試合をしたとあります。この時、門下の小川梶太が比留間家の推挙で農兵に選ばれています。

参考文献：文芸ひだか第8号「南遊季候」 斉藤一郎(平成7年3月15日)

▲ 「藍玉通」 天保9年(1838年)2月 水村家文書
水村家は紺屋(染物屋)を営んでおり、藍玉を渋沢家から買っていた記録が残っています。

※ 「通」 =あとで清算するための一時的な記録

出典：日高市史 近世資料編



「生後7か月の仲良しな2人
☆元気いっぱいです!」

吉野 陽依ちゃん 0歳10か月
陽葵ちゃん 0歳10か月 (鹿山)



「もー
このヘアバンドはやだよー」

水野 叶都ちゃん 1歳0か月 (高萩)

わが家の
愛撮る

お子さんの写真を掲載しませんか?市ホームページ「便利なサービス」にある「電子申請」から投稿できます。プリントした写真を提出する場合は、お子さんの氏名・生年月日、保護者の住所・氏名・電話番号、一言コメントを市政情報課広報・統計担当へ郵送または直接お寄せください。

投稿はこちら→



編集室

新年度がスタートしました。春の陽気となり、きれいな花や新緑が楽しめる季節となりました。入学や入社により、生活環境が大きく変わる人も多いかと思いますが、新しい環境に早く慣れて、新生活を楽しんでいきたいですね。本年度も広報ひだかをよろしくお願ひします。(一)

新1年生に
聞きました!

いよいよ小学生!学校で楽しみにしていることは?



竹本 隆一さん (南平沢) 鈴木 空代さん (鹿山) 樋口 華弥さん (鹿山) 村上 結飛さん (北平沢) 嶋野 駿太さん (南平沢) 平沼 友尊さん (鹿山)